

アポハイドローション 20%

【この薬は？】

販売名	アポハイドローション 20% APOHIDE Lotion 20%
一般名	オキシブチニン塩酸塩 Oxybutynin hydrochloride
含有量 (1g 中)	オキシブチニン塩酸塩 200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、原発性手掌多汗症治療剤と呼ばれるグループに属する塗り薬です。
- ・この薬は、手のひらの皮膚から吸収され、皮膚の下にある交感神経から出される発汗を促す物質をブロックすることで、発汗を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

原発性手掌多汗症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると症状が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・閉塞隅角緑内障の人
- ・下部尿路閉塞疾患（前立腺肥大等）による排尿障害のある人
- ・心臓に重篤な障害がある人
- ・腸閉塞または麻痺性イレウスのある人
- ・重症筋無力症の人
- ・過去にアポハイドローションに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・下部尿路閉塞疾患（前立腺肥大症など）にかかっている人
- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・うっ血性心不全の人
- ・不整脈のある人
- ・潰瘍性大腸炎の人
- ・パーキンソン症状または脳血管障害のある人
- ・認知症または認知機能（記憶力、判断力、計算力等）障害のある人
- ・塗布部位に創傷や湿疹・皮膚炎などがみられる人
- ・腎臓に重篤な障害がある人
- ・肝臓に重篤な障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は手のひらに使用するローションタイプの塗り薬です。


●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の使用量および回数は、次のとおりです。

一回量	適量（ポンプ5押し分が目安です。）
使用回数	1日1回 就寝前に手のひらに塗ります。

●どのように使用するか？

	<p>お薬を塗る前に、手のひらの水分などをよく拭いてください。</p>
---	-------------------------------------

	<p>手のひらにアポハイドローションを適量塗ってください。 ※5プッシュ分が1回の使用量の目安になります。</p>
	<p>左右の手のひらに均等に塗り広げます。 ※手のひら以外の部位には使用しないでください。 ※可燃性の成分を含むため、火気を避けて使用してください。</p>
	<p>お薬を塗ったまま、就寝します。 ※お薬が乾くまで寝具などに触れないようにしてください。</p>
	<p>起床後は、手を流水でよく洗ってください。</p>

- ・お薬を塗った後は、お薬が意図せず洗い流されないように、手が濡れる行為は避けてください。
- ・お薬を塗った手を、気密性の高い手袋などで覆わないようにしてください。
- ・起床後に手を洗うまでの間は、塗った箇所以外（目など）に触れないようにしてください。万が一目に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に使用しないでください。

使用し忘れた場合は、次回から通常どおり、指示された量を塗ってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

視力障害（文字や形がみえにくい、視野の異常）、頻脈（胸がドキドキする、めまい、動悸）、尿閉（尿が出にくい）などがあらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬には、アセチルコリンの作用を阻害する作用（抗コリン作用）があり、眼の調節障害（視力障害、目がかすれるなど）、めまい、眠気があらわれること

があるので、自動車の運転など、危険を伴う機械の操作を行う際には注意してください。

- ・この薬は発汗を抑制するため、発汗が促進される環境（気温や湿度が高い場所・運動時など）で汗が出ず、体温が上がるおそれがあります。熱中症を疑う症状があらわれた場合には、涼しい場所に移動する、身体を冷やす、医療機関を受診するなどの適切な対応を行ってください。
- ・この薬の抗コリン作用により、消化管運動が低下するおそれがあるので、消化器症状があらわれた場合は使用を中止し、医療機関を受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、 出血が止まりにくい
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐（おうと）、お腹が張る
尿閉 にょうへい	尿が出にくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	出血が止まりにくい
顔面	鼻血
口や喉	歯ぐきの出血、吐き気、嘔吐
腹部	お腹が張る
皮膚	あおあざができる
便	便やおならが出にくい
尿	尿が出にくい

【この薬の形は？】

性状	無色～微黄色澄明の液
----	------------

形状	
識別コード	HP219L

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	オキシブチニン塩酸塩
添加剤	アジピン酸ジイソプロピル、精製水、無水エタノール、 その他 1 成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・このお薬は可燃性の成分を含むため、火気を避けて保管してください。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●このくすりの廃棄方法は？

- ・このお薬が残っている場合は、火気を避けてお薬を紙や布などに吸収させて、可燃ごみとして捨ててください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：久光製薬株式会社 (<https://www.hisamitsu.co.jp>)

お客様相談室

電話：0120-133250

受付時間：9：00～17：50

（土日・祝日・会社休日を除く）